

太平洋島嶼国への援助と マグロ産業の発展

背景 太平洋島嶼国への援助合戦

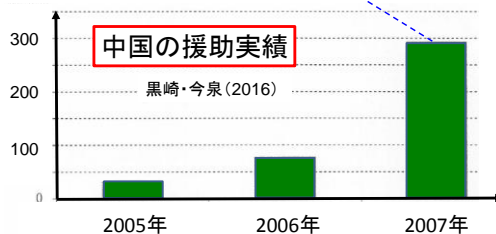


大洋州地域への国別援助実績

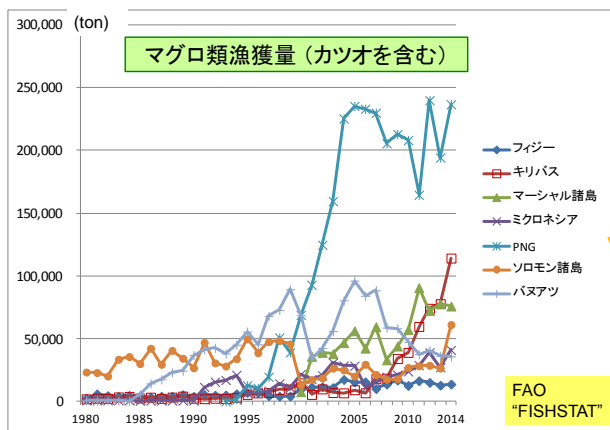
(100万ドル)

	1位	2位	3位	4位	5位	計
2005年	豪 483	米 159	仏 110	NZ 104	日 97	977
2007年	豪 650	米 172	仏 134	NZ 133	日 70	1,173
2011年	豪 1,209	米 236	NZ 205	日 185	仏 144	2,011
2012年	豪 1,147	NZ 228	米 168	日 152	仏 137	1,866
2013年	豪 1,041	NZ 222	米 217	日 141	仏 126	1,784

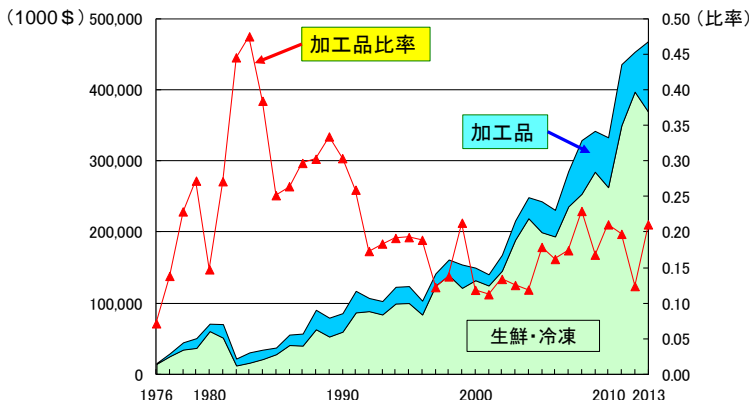
出典: 外務省ODA実績



太平洋島嶼国のマグロ漁業は発展しているか？



太平洋島嶼国におけるマグロ輸出の高付加価値化 (マグロ類輸出における加工品比率)



マグロ漁獲量の多いバブアニューギニア、フィジー、バヌアツ、ミクロネシア連邦、ソロモン諸島、マーシャル諸島の合計値である

まとめ

- 1) 太平洋島嶼国への援助合戦の様相
- 2) しかし、マグロ漁業は発展している
(漁獲量の増加)
- 3) マグロ産業の高付加価値化・雇用拡大への動きは？

タイと比較すると見劣りするが、フィリピン、インドネシアとの比較では遜色なし

(ただし、加工品輸出がバブア・ニューギニアとフィジーに限定される)



(タイのツナ缶詰工場)